

平成26年度補助金対象新設機器の紹介

広島市の中小企業が抱えている技術的な課題に対応する試験・検査用機器の整備を図るため、(公財)JKAからの補助をうけて下記の機器を導入しました。

ご利用方法など、各機器の詳細については当センターまでお気軽にお問い合わせください。

インクジェット式三次元造形機

紫外線硬化樹脂を積層しながら、切削加工では難しい複雑な形状の立体物を作り出すことができる3Dプリンタです。

[型式]

株式会社キーエンス AGILISTA-3100

[仕様]

- ・最大造型サイズ 297×210×200mm
- ・積層ピッチ 15 μ m (高分解能)、20 μ m (標準)
- ・モデル材 AR-M2 (透明樹脂)
- ・サポート材 AR-S1 (水溶性樹脂)
- ・入力データファイル形式 STL



示差走査熱量計

一定の熱を与えながら、基準物質と試料の温度を測定し、試料の熱物性を温度差として捉え、試料の状態変化による吸熱反応や発熱反応を測定する装置です。試料の材料の比較、物性評価を行い、新素材の開発や材料の比較、不具合の原因究明に活用します。

[型式]

パーキンエルマー株式会社 DSC8000

[仕様]

- ・入力補償型
- ・温度範囲：-75～500℃ (電気冷却器使用)
- ・昇温速度：0.01～300℃/min
- ・降温速度：0.01～150℃/min
- ・温度正確度：±0.05℃
- ・熱量正確度：±0.2%以内

